

2024年3月25日

各位

株式会社北洋銀行

## ほっく一障がい者スポーツ基金を通じて 選手2名へ総額100万円の助成金を贈呈しました！

北洋銀行(頭取 安田 光春)は「ほっく一障がい者スポーツ基金」を通じて、北海道の障がい者スポーツに取り組む個人選手2名へ総額100万円の助成金を贈呈しました。

本基金は、当行でお取り扱いしている「SDGs(パラスポーツ応援)私募債」発行額の0.2%相当額を拠出し、道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手や団体等に、官民連携で構成している「ほっく一障がい者スポーツ基金選定協議会<sup>※1</sup>」による協議を踏まえ助成しています。既に贈呈済みの団体<sup>※2</sup>を合わせた本年度の助成金額は総額120万円となります。これにより、本基金による助成額は2,584万円(延べ59先)となります。選手・団体の詳細につきましては、別紙を参照ください。

当行は今後も地域のお客さまとともに障がい者スポーツを支援し、「北洋銀行 SDGs 宣言」に基づきSDGsの達成と地域社会の発展に貢献してまいります。

※1 選定の妥当性・公平性・透明性を図るため、北海道、札幌市、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会、株式会社北海道新聞社、当行により構成しています。

※2 [ほっく一障がい者スポーツ基金を通じて「第43回北海道障がい者冬季スポーツ大会」を応援します！](#) (2024年1月24日掲載)

記

### 【2023年度「ほっく一障がい者スポーツ基金」助成先】

| 助成先                                      | 所属            |
|--|---------------|
| 森本 悠生(もりもと ゆうき)選手<br>北海高等学校 1年生・バドミントン   | 北海高等学校バドミントン部 |
| 川眞田 結菜(かわまた ゆうな)選手<br>北広島市立西の里中学校 1年生・水泳 | JDSA JSS 清田   |



左から順に：北洋銀行豊平支店 木村支店長  
森本 悠生選手  
北海高等学校 秋山校長



左から順に：北洋銀行北広島中央支店 浅野支店長  
川眞田 結菜選手  
北広島市立西の里中学校 高橋校長

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

# ほっくー障がい者スポーツ基金

## 2023年度 助成先のご紹介

### 『SDGs（パラスポーツ応援）私募債』について

お客さまに私募債を発行いただくことで、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に助成金を贈ります。

発行企業さま  
(お客さま)

私募債発行

 北洋銀行  
(発行支援)

資金拠出

ほっくー障がい者  
スポーツ基金

<選定協議会>

- 北洋銀行
- 北海道
- 札幌市
- 北海道障がい者スポーツ協会
- 札幌市障がい者スポーツ協会
- 北海道新聞社

私募債発行額の0.2%相当額を助成

道内の障がい者スポーツに  
取り組む選手・団体等

# 2023年度助成先について

2023年度は総額120万円を助成します。

助成先の選定に際しては「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会」にて、助成目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の3先に決定しました。

## 【カテゴリー 1】 世界を目指す選手の応援



- ① 森本 悠生選手  
＜バドミントン＞
- ② 川真田 結菜選手  
＜水泳＞

## 【カテゴリー 2】 普及・振興活動への支援



- ③ 第43回北海道障がい者  
冬季スポーツ大会



# MORIMOTO YUUKI

森本 悠生 選手

障がい名：先天性難聴による聴覚障害  
競 技：デフバドミントン  
所 属：北海高等学校バドミントン部



# ① 森本 悠生 選手

## 競技を始めたきっかけ

バドミントン経験者である父親に教えてもらったのがきっかけです。

## 主な競技成績

- 2022年1月 第40回北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会  
男子シングルス、全道3位
- 2022年3月 第22回全日本中学生バドミントン選手権大会  
団体戦南北海道代表、全国ベスト16
- 2022年7月 北海道中学校体育大会  
・第53回北海道中学校バドミントン大会  
男子シングルス、全道ベスト8
- 2023年7月 第3回世界デフユースバドミントン選手権(ブラジル)  
男子シングルス準優勝、混合ダブルス優勝
- 2023年7月 第6回世界デフバドミントン選手権(ブラジル)  
男子シングルスベスト8 (入賞)  
混合団体戦準優勝

## 競技のやりがい・魅力は？

パワー・持久力といった身体・体力的な部分が必要ですが、戦略を立てた頭脳戦も勝敗に大きく左右されるなど、駆け引きが面白いのと、老若男女が楽しめる生涯スポーツであることにも素晴らしさ、魅力があると思います。

## 今後の目標

2025年に日本で初開催される「東京2025デフリンピック」に出場し、メダルの獲得を目指します。

# 川真田 結菜 選手

障がい名：感音性難聴  
競 技：水泳  
所 属：JDSA JSS清田



**KAWAMIATA  
YUNA**

# ②川眞田 結菜 選手

## 競技を始めたきっかけ

5歳の時に、姉と妹と3姉妹で、父の強い希望で始めました。



競技のやりがい・魅力を教えてください

運動量が多く、筋肉がたくさんふえる事、友達と仲良く一緒に居れる事。

「これだけは他の競技者に負けない！」と自慢できるものは？

誰にも負けないという気持ちが無いという謙虚な部分。

## 主な競技成績

- 2021年8月 第44回全国JOCジュニアオリンピック夏季大会  
女子10歳以下4×50Mフリーリレー6位入賞
- 2023年4月 日本デフ水泳協会 日本代表に選出
- 2023年8月 第6回世界デフ水泳選手権大会に日本代表として参加  
400M自由形5位入賞／200Mバタフライ7位入賞  
200M個人メドレー8位入賞／4×100Mフリーリレー4位入賞／4×200Mフリーリレー4位入賞
- 2023年8月 第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ  
夏季水泳競技大会  
女子11～12歳 4×50Mフリーリレー出場
- 2024年1月 第50回JSCA新年フェスティバル水泳競技大会北海道会場  
女子11・12歳 50m自由形1位／100m背泳ぎ1位

## 今後の目標

- ・全国JOCジュニアオリンピックカップ出場
- ・デフリンピック優勝



# 第43回北海道障がい者冬季スポーツ大会

主 催：公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会



# ③第43回北海道障がい者冬季スポーツ大会

## 大会の目的

障がい者が冬季スポーツを通じて 健康な心身の維持・強化を図り、希望と勇気を持って社会に参加するとともに、道民の共感を呼び起こさせ、共生社会の理念の浸透を図ること。

## 開催概要

- 開催日 2024年3月10日（日）
- 会場 朝里川温泉スキー場
- 主催 公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会
- 参加者数 約50名
- 競技種目 大回転競技  
ランクA／500m・ランクB／400m・ランクC／300m  
距離競技  
ランクA／3,000m・ランクB／1,000m・  
ランクC／500m・ランクC／150m

身体障害者、知的障害者、精神障害者を参加対象とし、大回転競技と距離競技をそれぞれのランクにより行う。初心者から上級者まで幅広く参加対象として、子どもや重度障がい者も参加できる大会として開催する。



**2022年度「SDGs(パラスポーツ応援)私募債」発行企業一覧  
(企業名の公表に応諾いただいたお客さまのみ)**

敬称略・私募債の発行日順

| 発行企業名           | 代表者    |
|-----------------|--------|
| 株式会社光星農機        | 柏尾 透   |
| 株式会社ウイルネットワーク   | 岡 武志   |
| 協和技研株式会社        | 岩崎 譲二  |
| 株式会社カネチョウ       | 長谷川 裕司 |
| 山栄産業株式会社        | 中嶋 幹樹  |
| 株式会社ビーシステム      | 佐藤 博幸  |
| 株式会社テムズ         | 宮田 輝延  |
| 株式会社麻生不動産       | 高橋 静孝  |
| バイヤーズエージェント株式会社 | 若山 真也  |
| 株式会社恵菱設備        | 北川 治樹  |
| 株式会社アイーナホーム     | 山下 史昭  |
| 株式会社丸竹竹田組       | 竹田 邦治  |
| ビルドプロテック株式会社    | 佐藤 孝之  |